

使用した工具の保管について

使用した注入器に付いたインク汚れは、水洗いして、次の詰め替えまでパッケージに入れて保管してください。
汚れが付いたまま保管すると乾燥したインクで使用できなくなる場合があります。
(注入器は黒ゴム保護のためピストンは外さず、購入時の状態で保管してください)



2回目以降の詰め替え

カートリッジがインク切れ表示になったことを確認して、詰め替え手順1~4を再度行って詰め替えてください。

推奨詰め替え限度回数

詰め替えによるインクカートリッジの再使用は3~4回までが限度です。それ以上の詰め替えはインクの供給に不具合が生じたり、空気口、インク供給口の弁の劣化により密閉が損なわれ、インクが漏れることができます。限度回数になったら、新しいカートリッジに交換することをお勧めします。

トラブルシューティング Q&A

●以下の状態のインクカートリッジで詰め替えをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。

- 再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社製つめかえインクや道具を使用したことのあるカートリッジ。
- 純正品使用後のカートリッジ以外のカートリッジには対応しておりません。(再生品カートリッジ、互換品カートリッジ、他社詰め替えインクと併用など)
- 詰め替え回数が取扱説明書に記載の推奨限度回数を超えたカートリッジ。
- インクがなくなつて長い間放置(使用しない)されていて、詰め替え不能なカートリッジ。

	症 状	確認事項	処 置
準備	注入器のノズルが入りにくい。または入らない。	作業の方法を確認してください。	カートリッジの空気口のビンに合わせて、真っ直ぐに差し込んでください。(手順①参照)
	カートリッジは純正品ですか。		注入器などの工具は純正カートリッジに適用するように作られており、それ以外の再生カートリッジや互換カートリッジには使用できません。
詰め替え作業中	注入器のピストンが動かず、インクが入らない。	カートリッジ内の空気を抜きましたか。	カートリッジ内が十分な負圧になっていません。手順①の作業を再度行ってください。
	カートリッジからインクが漏れている。	詰め替え回数を確認してください。	詰め替え回数が多くなると(3~4回までが目安)空気口の弁の動きが鈍り、密閉が悪くなることがあります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。
	注入器のノズルの差込みが不十分ではないですか?		カートリッジの空気口のビンに合わせて、真っ直ぐに差し込んでください。(手順①参照)
印刷の時	印刷ができない。またはかすれやスジが入る。(下記※1)	詰め替え回数を確認してください。	詰め替え回数が多くなると(3~4回までが目安)内部タンクのインクのがれに支障が生じ、印字の状態が悪くなりやすくなります。新しいカートリッジへの交換をお勧めします。
	他社のインクと併用していませんか。		純正互換インクなので、併用した場合、インクがかすれたり出なくなる恐れがあります。
	長期間使用していない、または、外してあったカートリッジではありませんか。		長期間使用していないカートリッジは内部のインクが乾燥して流れなくなり、印刷できない可能性があります。詰め替える前に必ず印字できるか確認してください。

(※1) 改善しないままクリーニングを繰り返さないでください。詰め替えたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかることがあります。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター

tel: 0120-968-268
受付時間：月～金(土・日・祝日のぞく)
9:00～12:00 13:00～17:00
inksupport@sanwa.co.jp

お願い

ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

サンワサプライ株式会社
岡山サプライセンター 岡山県岡山市北区田町1101 TEL:086-223-3311
東京サプライセンター 東京都品川区南大崎5-8 TEL:03-5763-0011
<http://www.sanwa.co.jp/>
12/02/MTDaKi



つめかえインク取扱説明書(アダプタ方式)

INK-LC12シリーズ共通

ご使用前に
必ずお読みください。



注意

- 詰め替えをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全な詰め替えや説明内容と違う使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
- インクカートリッジの種類により適応するインクが異なります。対応カートリッジをご確認の上ご使用ください。
- インクは身体及び衣類等に付着するとすぐには消えません。取扱いにご注意ください。
- 同シリーズ以外のつめかえインクを使用したカートリッジには対応していません。

インク成分

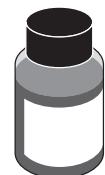
- INK-LC12シリーズ
 - ・ブラック(顔料)……[蒸留水]40~60%・[グリセリン]10~20%・[ピロリドン]5~10%・[ブタノール]5~10%・[その他溶剤]1~10%・[黒顔料]10~20%
 - ・シアン……………[蒸留水]60~80%・[グリコール]5~10%・[ピロリドン]5~10%・[プロパンジオール]1~5%・[その他溶剤]1~10%・[染料]10~20%
 - ・マゼンタ…………[蒸留水]70~80%・[グリコール]5~10%・[ピロリドン]5~10%・[プロパンジオール]1~5%・[その他溶剤]1~10%・[染料]5~10%
 - ・イエロー…………[蒸留水]60~70%・[グリコール]5~10%・[ピロリドン]5~10%・[プロパンジオール]1~5%・[その他溶剤]1~10%・[染料]5~10%

セ ッ ト 内 容

数量はパッケージをご覧ください

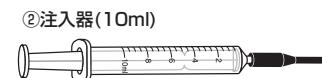
このパッケージの中には以下のものが含まれています。
もし、不足しているものや、損傷などがありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。

①インクボトル



インク面の高さについて

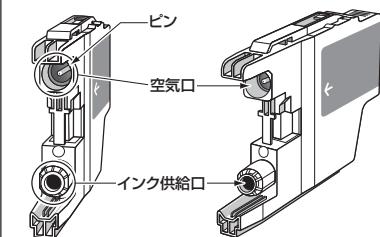
ボトルのインク液面の高さに差がある場合があります。これはボトルの内容積の差によるもので、インクの量はパッケージに表示してある容量が充填されています。



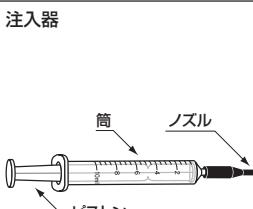
各 部 の 名 称

インクカートリッジ

空気口の中央にビンがあり、ここからインクを詰め替え(注入)します。



注入器



安全上の注意 △

次の注意事項は、詰め替える時の危害や損傷を未然に防ぎ、つめかえインクセットを正しく安全にお使い頂くためのものです。

- 詰め替えは新聞紙などを敷いて、その上で行ってください。
- 詰め替える時にインクがこぼれ、周辺が汚れることがあります。ティッシュペーパーもしくはペーパータオルなどをあらかじめ用意ください。
- 本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐに消えません。ご使用に際しては注入する時の他は、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持たないようにしてください。

注 意 △

- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
- 目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流し、専門医の診断を受けてください。
- カートリッジをプリンタから取外したり、取付ける時には、プリンタの取扱説明書の指示に従ってください。
- インクは開封後1年以内にご使用ください。

保 管

詰め替え後の残ったインクは、しっかりとフタをして、直射日光の当たるところ及び、高温多湿の場所は避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐために容器は立てて保管してください。

対応カートリッジ

ブラザー LC12BK、
LC12C、LC12M、LC12Y

対応プリンタ

MYMiOシリーズ

MFC-J955DN / J955DWN / J825N /
J705D / J705DW

DCP-J925N / J525N

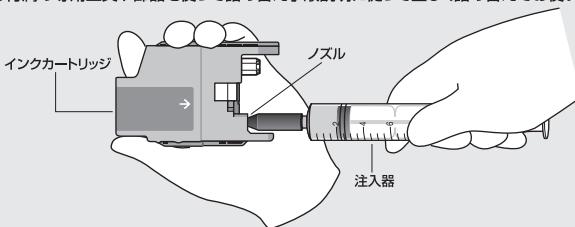
- ・本製品のインクは弊社オリジナルインクを使用しています。
- ・本製品はブラザー工業(株)とは無関係で承認を受けたものではありません。
- ・製品仕様は諸般の事情により予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・記載されている会社名・商品名は、一般には各社の商標または登録商標です。
- ・本製品の品質不具合が認められた場合は、同数の新しい製品とお替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- ・改良のため予告なく外観、仕様を変更する場合があります。

下 詰め替えの前に必ずお読みください

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

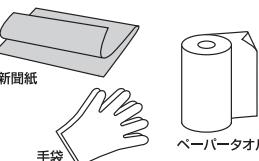
1 詰め替えのポイント

イラストのようにカートリッジの空気口に注入器のノズルを差し込んでインクの詰め替えを行います。付属の専用工具や部品を使って詰め替え手順説明に従って正しく詰め替えてお使いください。



準備

- 詰め替えの時にインクがこぼれて、周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙またはペーパータオルなどを用意し、その上で作業を行ってください。
- 手や着衣にインクがつかないよう付属の手袋をつけ、エプロンなどを着用して汚れを防止してください。



詰め替え回数

- 詰め替えによるカートリッジの再使用は3~4回までが適当です。それ以上の詰め替えはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

詰め替え後のクリーニング

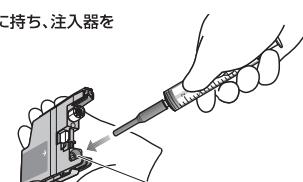
- クリーニングの繰り返しはインクが消費されます。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はクリーニングを中止して、トラブルシューティングを参照してください。

下 詰め替え手順

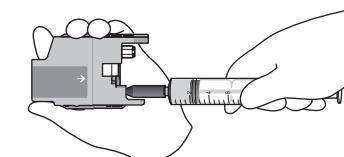
詰め替えは下記の手順で行ってください。(必ず説明内容を一度読んでから、詰め替え作業を行ってください。)

手順 ① カートリッジ内のインク(空気)を注入器で抜き取る

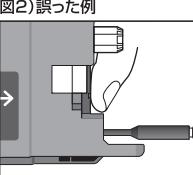
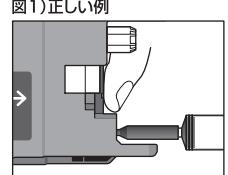
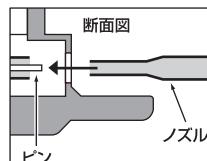
①カートリッジの空気口が下になるように持ち、注入器を空気口のピンに差し込みます。



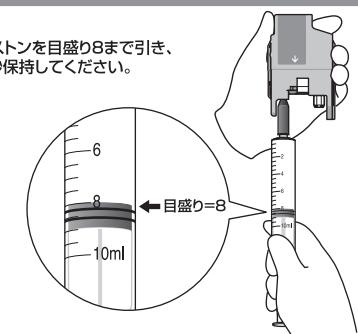
②注入器の先を奥に当てます。



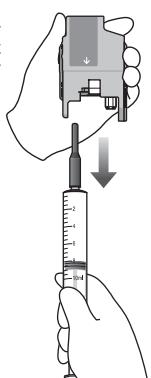
! 注入器の筒を持ち、ピンをノズルの中に入れ、図1のように奥まで確実に差してください。図2のように差しがみが不完全な場合、インクが入らず、横から漏れる恐れがあります。確実に差し込まれていることを確認してから注入してください。



③ピストンを目盛り8まで引き、5秒保持してください。



④ピストンを引いた状態のまま、注入器を抜き取ってください。これで内部の空気が抜き取られ、負圧状態となりました。

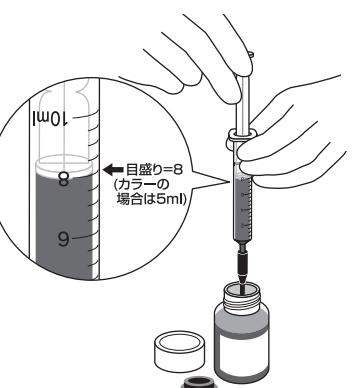


2 インクを注入器にうつす

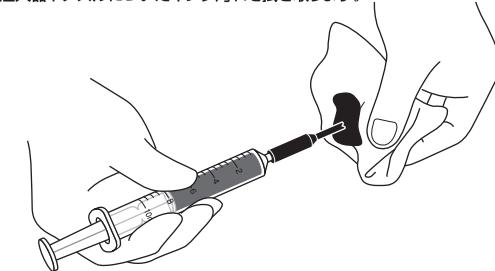
- ①注入器の8mlの目盛りまでインクボトルからインクを引き出します。(カラーの場合は5ml)



注入するインク量
黒(LC12BK) 8ml
カラー(LC12C/M/Y) 5ml

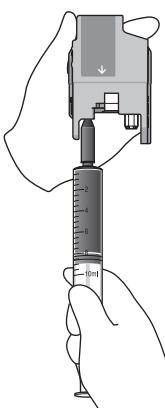


- ②注入器やノズルに付いたインク汚れを拭き取ります。

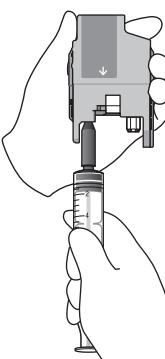


3 インクを注入する

- ①インクの入った注入器を空気口に差し込みます。



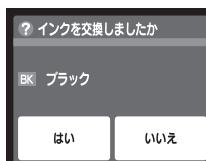
- ②注入器のピストンが止まるまで待ちます。(インクが負圧でカートリッジ内に自然と入っていきます。注入器のインクが全て注入されましたら④へ、注入器のインクが残っている場合は③の作業に移ってください。)



4 動作確認とクリーニング・印字テスト

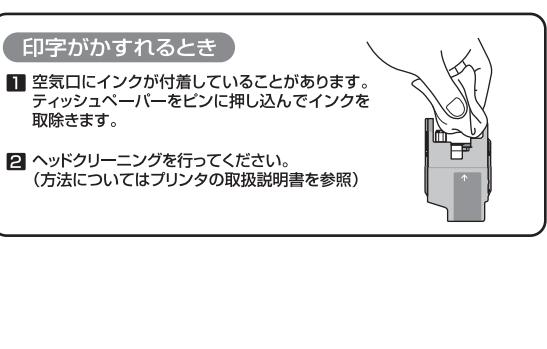
4 動作確認とクリーニング・印字テスト

カートリッジをプリンタ本体に取付け、プリンタの液晶画面を確認してください。下記のような表示がされた場合は、必ず「はい」を選択してください。



※イラストはMFC-J705Dの表示例です。
機種により表示は異なります。

「はい」を選択しなかった場合は残量データがリセットされないため、残量の把握ができなくなります。



印字がかかるとき

- 空気口にインクが付着していることがあります。ティッシュペーパーをピンに押し込んでインクを取除きます。

- ヘッドクリーニングを行ってください。(方法についてはプリンタの取扱説明書を参照)

